

まちづくりビジョン策定委員会（第8回）会議録

■ 日 時：平成26年4月25日（金）午後2時30分～午後5時15分

■ 場 所：みなかみ町観光センター 2階 第1会議室

■ 出席者：

①まちづくりビジョン策定委員会（10／13名）

小林 洋、河合 生博、小野 章一、鈴木 和雄、津久井 功、持谷 美奈子、
中島 エリ、渡辺 一彦、金子 崇範、鬼頭 春二

②アドバイザー（1／1名）

平松 庚三

③事務局（2／3名）

まちづくり交流課長 宮崎 育雄、主査 大川 志向

■ 配布資料

資料1 中間報告会プレゼンテーション（案）

■ 会議内容

1 開会

2 議事

（1）観光業の現状と課題について

○ 町観光協会 須藤代表理事、小野副理事から、観光業の現状と課題、今後の取り組み方針等について説明していただく。

・人口の減少やライフスタイルの多様化などから、中長期的に温泉旅行の市場は急速に縮小してしまう。この現象は仕方のないことで、この状況で生き残るための戦略として、若年層を旅行させるための市場教育、滞在時間の長期化（日帰りを宿泊に）、インバウンドの積極的な展開などが考えられる。そのためには、商品の質を根本的に変える必要があって、多くの選択肢を与える必要がある。具体的な手段は以下の通り。

・若者や外国人の宿泊を増加させるためには、気軽に泊まれて夜を楽しめるような仕掛けが必要。空き店舗を活用してバーを設置するなど、温泉街を夜も楽しめる外国のリゾート地のように変革し、泊食分離とすれば、観光地として生き残れる可能性は高い。旧来のニーズも残り、経営者の意識を変えることも容易ではないので、新旧を融合させながら、徐々にバトンタッチできればよい。若者や外国人の需要は、アウトドア関連業者がよく把握しているので、彼らをもっと巻き込んでいくべき。

・外国人が多数派になることはないが、受け入れ側に英語を話せる人を増やすことで、外国人は安心して訪れることができる。法的な規制もなく、一番手っ取り早い方法。また、他に先駆けてイスラム圏からの観光客に対応できれば、強みとなる。

（2）中間報告会について

平松 中間報告会まで1か月となって、内容を議論できる回数も限られている。プレゼン

資料のたたき台を用意したので、みなさんで検討したい。

○ 中間報告会の流れと役割について確認する。

第1部 中間報告会（60分） 司会進行＝宮崎

あいさつ＝鈴木委員長 → ビジョン報告＝平松 → 質疑応答 →

あいさつ＝鬼頭副委員長

休憩

第2部 講演会（60分）

平松 （プレゼン資料（案）により、報告内容と流れについて説明する。）

- ・若者を中心に人口の減少が著しいことから、町の地場産業を振興させ雇用を増やし、活気ある町をつくるために、まちづくりビジョンの策定が必要である。
- ・本委員会では、現状の認識と問題点の把握を行い、優先順位の高いものから戦略の構築、実行案の開発までを行う。

河合 これまでも、戦略までは構築しているが、実行と評価ができていない。予算も含めて具体的な実行案まで策定しないと、これまでと同様になってしまうので、絵に描いた餅で終わってしまうことは避けたい。新たな委員会を組織し、実行と評価について行政を監視しないとならないし、町長に要求していかなければならない。

鈴木 予算に関して答申する必要があると思うが、最終的に実行するしないを判断するのは町長であって、答申の段階で無理に削る必要はないし、国や県なども巻き込んで実行できればよい。

平松 実行と評価については、誰が行うのか。実行部隊とした方がいいか。

小野 諮問機関からあった答申を実行するのは本来、行政である。

小林 実行委員会の設置までを答申し、仕切り直して再度集まればよいのではないか。

宮崎 同じようなメンバーにはなるかもしれないが、一般的には検証委員会に引き継いで、答申したことが実行されているかを検証している。民間の協力を得ながらではあるが、実行の主体は行政である。

河合 予算を組むには当然議会の議決が必要なわけだから、お金の流れについては議会でしっかりチェックすることになるので問題ない。

鈴木 予算を確保するにも行政が提案しなければならないし、それを後押しするのがこのメンバーであって、そこまでした方がよいのではないか。

平松 資料にある実行部隊の名称を、行政と実行委員会などに変更することとし、答申と予算付けの段階を吹き出しで追加する。次期報告会を最終報告会に修正する。

平松 （プレゼン資料（案）により、報告内容と流れについて説明する。）

- ・優先順位が最も高い問題点は、産業の衰退と人口の減少であり、ユネスコエコパーク認定によるエコロジーと観光を核としたまちづくりを、町の自然や観光資源と外部資

源を活用しながら推進する。

- ・ユネスコエコパークに認定されただけでは大きな効果は見込めないことから、付加価値を生むような戦略を仕掛けていかなければならない。現在検討中の付加価値の多くは、町単独でも実現が可能である。
- ・観光を復活させるためにも、「みなかみ18湯」のブランド再定義と差別化を図り、新商品の導入や情報発信力の強化などを行う。また、農業を復活させるためにも、新しいビジネスモデルを開発し、外部資源を導入・活用しながら、新農業法人設立やみなかみブランドの開発を行う。
- ・これまで、里山整備の費用対効果を低く捉えていたが、観光や農業、エネルギーなどの分野で得られる効果を連結して算出すれば、里山整備を中心とした地域の経営が成立するのではないか。里山整備が心臓であり、里山を整備しなければ町全体が死んでしまうし、この考え方でなければ外部の協力も得られない。

平松 里山整備を中心としたビジネスモデルをつくるのに、各分野で得られる効果などの仮説を立てる必要があると思うがいかがか。

河合 観光や農業で得られる効果として、消費額などの具体的な金額で表せなくても、どれだけ雇用が増えるかで表現できればよいのではないか。各分野を連結させて、株式会社みなかみ町で考えられればよい。

小林 里山整備は全てに関連してくるし確かに重要であると思うが、心臓であってよいのか。町の発展が中心（心臓）にあって、どれも欠かせない要素（血液のようなもの）として、観光や農業と同じ並びに里山整備があるのではないか。

宮崎 それも考えたが、そうするとユネスコエコパークに認定する目的を見失いかねない。ユネスコエコパークの、自然を保護しつつ活かそうという根本的な理念が中心にあるべきではないか。里山整備という言葉は、受け手によって解釈が異なるので、言葉を変えるべきかもしれない。

持谷 里山を整備するのに専門的な人をどのように集めたらよいのか。観光などの分野には人を集めやすいような気がするが。

河合 直接的に里山整備に人を集めるのではなくて、そこから恩恵を受ける分野ごとに人を集めればよい。

平松 人的、金銭的な外部資源をいかに集めるかが問題で、水瓶ファンドやふるさと納税を活用することも考えられる。

小林 ふるさと納税をしてくれた人には単純にお礼の品を送るのではなく、例えばダムやトンネルの内部を見学できるとか、一般の観光客では体験できない特典をつけてもおもしろい。

平松 趣旨は合わなくなるかもしれないが、ありとあらゆる手段（前述の特典や商品券によるキャッシュバックなど）を駆使して資金を集めるべきで、使い道を里山整備などに限定されるような仕組みとすればよい。

鈴木 このビジョンに福祉を含めて検討したいと考えている。ビジョンの目標が人口を3万人に増やすことであるし、さらなる高齢化の進展を見据えて、多くの高齢者を町内に迎え入れてはどうか。高齢者が生きがいをもって暮らせるような仕組みをつくれれば、そこには必ず雇用が生まれるし、地元での消費も増加する。

小林 生産年齢人口と年少人口を増加させるという考えが根本にないとならないのではないか。

平松 後半の具体案にはぜひ含めようと思っているが、エコとどのように絡められるか。

津久井 ユネスコエコパークとは区分が別なのかもしれない。

平松 確かに、人口を増やすためには外部から人を連れて来なければならないし、雇用を増やさなければ人は来ない。観光や農業だけでなく、福祉の分野においても新たなビジネスモデルが確立できて、雇用の増加を見込めるという考え方でよいか。戦略として、新規産業の創出と外部労働力の取り組みを追加することになるかもしれない。

小林 新規産業を創出するためにも、小規模な個人事業主にもチャンスを広げていけたらよいと思う。

渡辺 金銭的な補助や物件の確保など、若者が空き店舗を活用して起業できるような仕組みがあるとよい。

金子 インターナショナルスクールの誘致は雇用の創出にもつながるし、高い教育を受けられる場所には自然と人が集まるので、若者の定住にもつながる。

小林 中間報告の段階で、人口や観光消費額の目標値を明示してよいものか。具体的な数値については、実行案の検討をある程度行ってからにすべきだと思う。全体の人口も減少しているのだから、人口の増加は容易なことではないし、現在検討中の付加価値もどれだけ実現可能なのかわからない。

平松 人口を1万人増やすためには、少なくとも9千人くらいは外部から取り組むしかなくて、みなかみ町が人口減少を増加に転換させた過疎地域のモデル地区となることをイメージしている。中間報告会の段階では目標値を明記せず、口頭で説明する程度にとどめることとする。

3 次回委員会の開催について

○ 次回の委員会について、次のとおり日時と場所が決まる。

日時：5月9日（金） 午後2時30分から

場所：観光センター 2階 第1会議室

4 閉会